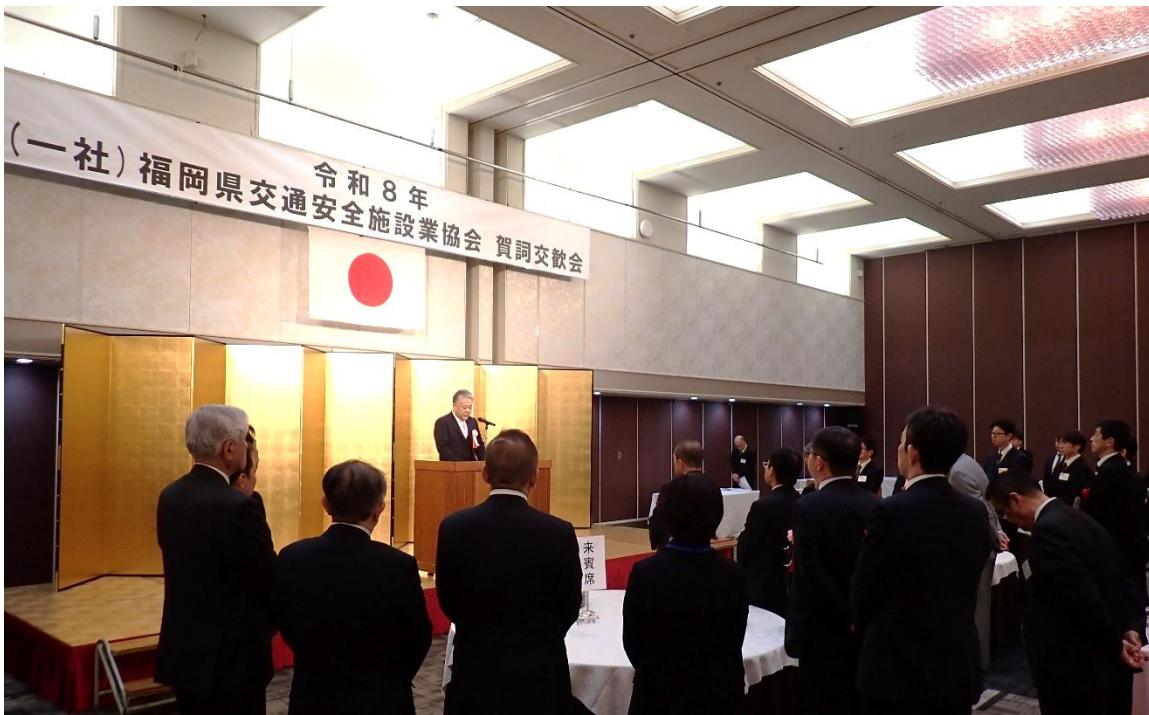


県交通安全施設業協会「令和8年賀詞交歓会」開く  
新年に向けて、会員相互の団結と業界の更なる発展を誓う



関係者約160人が出席し、新たな飛躍を誓い合った「令和8年賀詞交歓会」

(一社)福岡県交通安全施設業協会（田中賢哉会長）の「令和8年賀詞交歓会」は22日、福岡市の福岡リーセントホテルで開催した。交歓会には会員と賛助会員、来賓の福岡県県土整備部、福岡北九州高速道路公社、県道路公社、福岡県議会議員（顧問）の関係者約160人が出席し、会員相互の団結を図り、業界の更なる発展と企業の繁栄を誓い合った。

賀詞交歓会は、浅田実弦理事（㈱久留米道路施設）の開会の言葉に続いて、顧問で福岡県議会議員の自民党福岡県支部常任相談役、九州の自立を考える会会长の原口剣生県議、



主催者挨拶の田中会長

全国都道府県議会議長会会长の蔵内勇夫県議（公務のため欠席）、自民党県議団会長の松尾統章県議（公務のため欠席）が紹介された後、来賓の福岡県県土整備部の馬渡真吾部長、二場正義次長、山口甲秀次長と幹部職員、福岡県道路公社の黒木幸治部長（理事長代理）、福岡北九州高速道路公社の野上和孝副理事長らが紹介を受けた。

主催者挨拶で、田中会長（日本ディックライト株）は「当協会も今年で設立して10年となり、会員数も正会員70社、賛助会員33社と合計103社の専門業種団体となり、行政の認知度もかなり上がってきました。昨年の協会活動

を振り返ると、5月に通常総会・意見交換を開催し、9月には県への要望活動、11月は研修会を開催。12月は大野城市において「子供を守ろうプロジェクト」を実施し、来年度は北九州地区で実施予定しております。最近では円安、物価高という経済環境の中、皆さんも苦労されていると思いますが、交通安全施設の整備や維持は社会にとって不可欠な社会資本でありますので、顧問の先生方や行政関係者のご指導・ご協力をいただきながら会員全員で知恵を出し合って団結し、乗り越えていきましょう」と結束を訴えた。

来賓挨拶で、顧問の原口剣生県議（自民党福岡県支部常任相談役、九州の自立を考える会会长）は、「4～5年前に顧問を拝命させて頂き、会員や賛助会員が増えているという話を聞いて少しでも役に立っていると感じています。我々は県民・市民の安全安心を守っていく事を念頭に、田中会長からグリーンベルトの色についての相談を受け、顧問間で協議し返答しましたが、その時に色々な安全施設がある中で、うきは市にあるラウンドアバウトがあります。そこを利用する際にしていく部分と、出る部分で高齢者の方々には難しい箇所があり、周りに標識等の必要性を感じます。また、高速道路でも白線が薄くなっていると夜間や雨降り時に分かりづらく事故が起りやすくなる部分がありますが、我々が気付いた改善点や皆様から頂いた要望を国土整備部へお願いする活動を続け、安心・安全な街づくりに努めたいと思いますので、皆様方のご協力をお願い致します」と述べた。



来賓挨拶の馬渡県土整備部長



来賓挨拶の原口県議



乾杯の星子副会長

続いて、福岡県県土整備部の馬渡部長は「福岡県内の交通事故発生件数は、令和7年度1万7000件と前年度と比べて約6%減少となっており、皆様方のご協力により減少傾向にあります。その中でも、19日に朝倉市で自転車に乗っていた小学生が車と衝突し、亡くなられるという痛ましい事故がありました。このような悲しい事故が二度と起きないように、県としては、一生懸命に整備・管理に努めていきたいと思います。その為には皆様方の技術力・経験力が何より大事でございますので、引き続きご協力をお願い致します」と挨拶した。

このあと、星子洋満副会長（双葉工業株）が乾杯の発声で開演、知恵を出し合って団結し、交通安全施設業の発展と飛躍を誓い合って、和やかに歓談した。